

小学算数 位取り学習盤の使い方

小学校低学年で学習する位取りを指導する教材です。

(1) 数字の読み方の学習

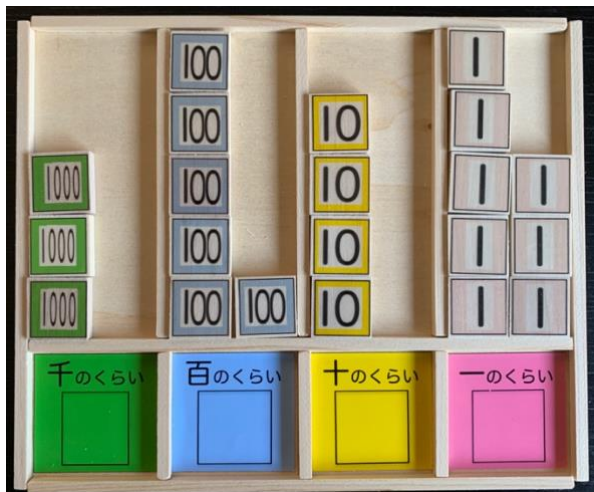


写真1

- ① 写真1のように、各位にそれぞれのブロックを置きます。
- ② 1000が3個あるので「三千」とよみます。100が6個で「六百」と読みます。10が4個で「四十」と読みます。1が8個で「八」と読みます。

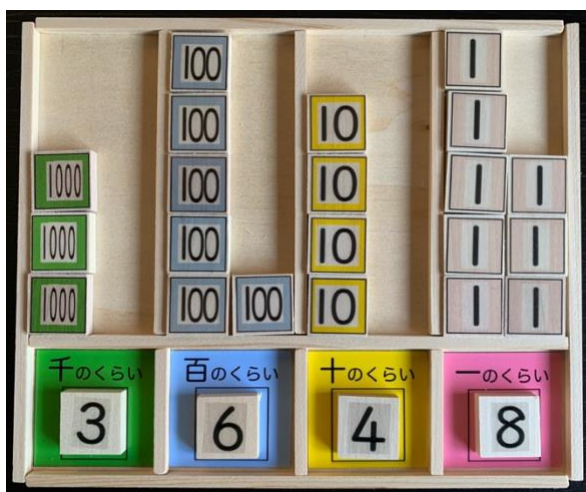


写真2

- ③ 写真2のように、児童が、千の位に3を、百の位に6を、十の位に4を、一の位に8を置きます。
- ④ 3648を「三千六百四十八」と読みます。

(2) 位を構成する数量についての学習

- ① 写真3のように、3648の数字をそれぞれの位に置きます。
- ② 児童が、千の位の上の枠内に1000のブロックを3個置きます。百の位の上の枠内に100のブロックを6個置きます。10のブロックを十の位の上の枠内に4個置きます。1のブロックを一の位の上の枠内に8個置きます。(写真2のようになります)



写真3

- ③ 「千の位には1000が3個」「百の位には100が6個」「十の位には10が4個」「一の位には1が8個」あることを、それぞれの位で、児童が答えます。
- ④ 「1000が3個と100が6個と10が4個と1が8個で3648」という学習をします。学習の最初は、③④ともに写真2を見てブロックの数を確認して、児童が答えます。
- ⑤ $3638=3000+600+400+8$ になる学習をします。

(3) 位が繰り上がる学習

- ① 写真4のように、千の位に 1000 のブロックを4個、百の位に 100 のブロックを 13 個置きます。
- ② 同じ位に 10 個以上の数量があることはないことに、児童が気づきます。
- ③ ここでは、100 が 10 個で 1000 という学習をします。

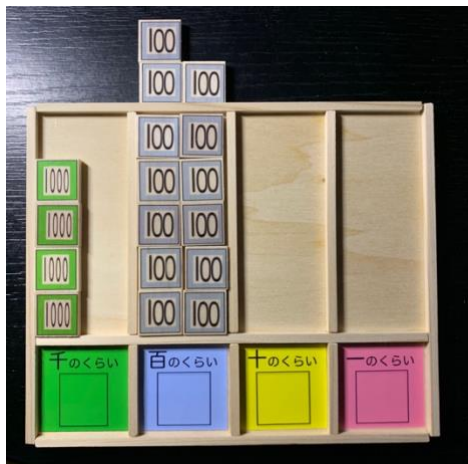
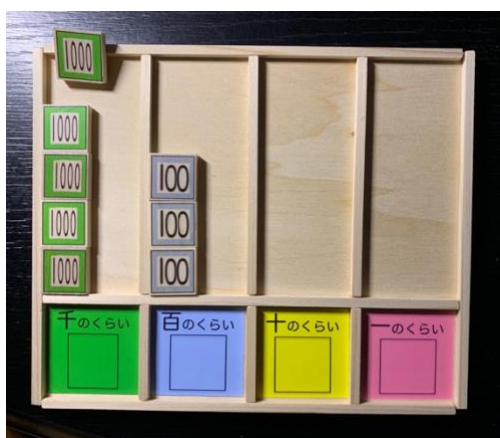


写真4

- ④ 百の位の上の枠に並べた 100 のブロック 10 個と 1000 のブロック 1 個を交換します。



- ⑤ 100 のブロック 10 個を位取り盤から取り除き交換した 1000 のブロックを千の位の上の枠に加えます。

